

2025年3月期 決算説明



株式会社エスティック

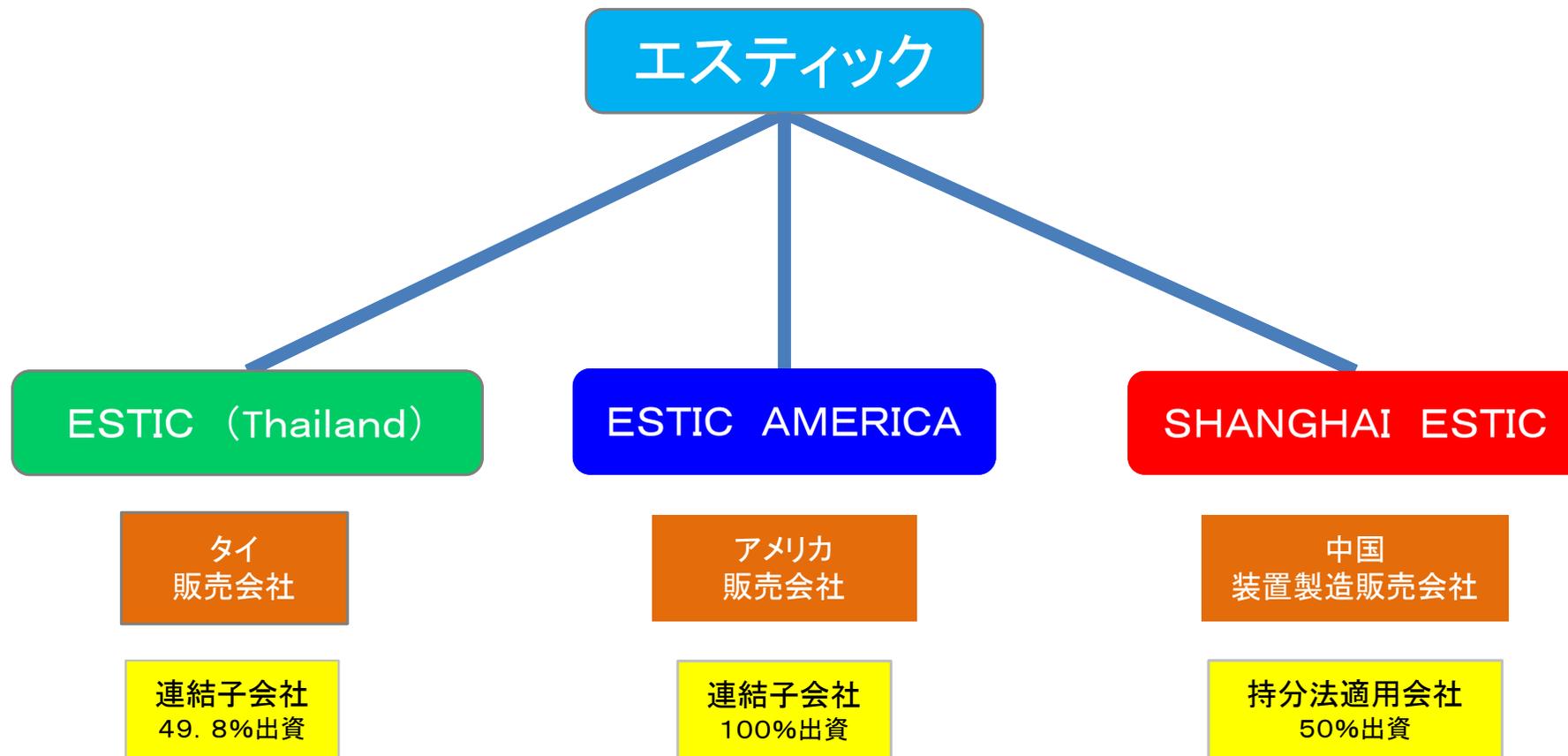
Electric-Servo-Tool-Intelligent Corporation

JPX STANDARD 証券コード6161
<https://www.estic.co.jp>

2025年3月期 連結決算概況



エステックグループ



2025年3月期経営成績の概況

1

国内設備投資堅調、ネジ締付装置売上大幅増

2

世界的なEV需要の鈍化により、主要ユーザー投資計画遅延

3

中国日系自動車投資縮小、一部EV大手積極的投資継続

4

アジア市場環境堅調、中国・タイは売上過去最高更新

5

原材料高・賃上げによるコスト増、営業利益率20%確保

連結経営成績

	2024年3月期		2025年3月期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比
売上高 (百万円)	7,127	100%	7,881	100%	754	110.6%
売上総利益 (百万円)	3,291	46.2%	3,663	46.5%	372	111.3%
営業利益 (百万円)	1,490	20.9%	1,637	20.8%	147	109.9%
経常利益 (百万円)	1,550	21.7%	1,723	21.9%	173	111.2%
当期純利益 (百万円)	1,133	15.9%	1,181	15.0%	48	104.2%
1株当たり 当期純利益 (円)	113円99銭		118円73銭		4円74銭	

連結財政状態

	2024年 3月20日現在	2025年 3月20日現在	増減額	主な増減理由
	金額（百万円）	金額（百万円）	金額（百万円）	
流動資産	7,054	8,421	1,367	現預金 +1,787 売掛債権 △127 在庫 △131
固定資産	3,675	3,635	△ 40	投資有価証券 +20 減価償却累計 △87
資産合計	10,730	12,056	1,326	
流動負債	1,011	1,160	149	未払金 +30 未払法人税 +178 受注損失引当 △54
固定負債	335	325	△ 10	長期未払金 △41 退職給付引当 +43
負債合計	1,347	1,485	138	
純資産合計	9,383	10,570	1,187	利益剰余金 +933 為替換算調整 +174
負債・純資産合計	10,730	12,056	1,326	

連結地域別品種別売上高

【単位：百万円】

2025年3月期						
国名	ナットランナ	ハンド	サーボプラス	装置	サービス	総計
アジア	704	1,135	26	28	80	1,973
北米	167	1,776	7	211	168	2,328
中南米	20	254	2	15	19	311
その他の地域	34	255	0	1	14	303
海外売上合計	925	3,420	35	255	281	4,916
日本	464	1,152	32	1,046	272	2,966
合計	1,389	4,571	67	1,301	553	7,881

前年同期比増減						
国名	ナットランナ	ハンド	サーボプラス	装置	サービス	総計
アジア	146	-12	-7	-108	29	47
北米	-39	34	-1	93	36	120
中南米	-8	101	1	-41	15	68
その他の地域	14	-126	0	1	12	-100
海外売上合計	112	-4	-8	-55	91	133
日本	-40	94	-5	525	50	622
合計	72	88	-13	469	141	754

※その他の地域 「中東、欧州、アフリカ」

2025年3月期 連結決算概況



連結キャッシュフロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)	当連結会計年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,555,615	1,723,245
減価償却費	150,507	186,679
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	460	△242
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,475	11,316
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	7,000	△6,000
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	72,024	△54,877
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△145,158	42,830
株式報酬費用	11,486	10,930
受取利息及び受取配当金	△4,890	△8,725
為替差損益 (△は益)	△2,111	△3,640
持分法による投資損益 (△は益)	△56,495	△66,980
固定資産売却損益 (△は益)	△4,685	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△101,904	190,143
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△511,397	158,239
仕入債務の増減額 (△は減少)	16,646	△22,153
未払金の増減額 (△は減少)	△60,040	28,098
長期未払金の増減額 (△は減少)	122,186	△41,799
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△148,265	159,088
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△445	1,325
その他	28,872	△26,964
小計	935,879	2,280,514
利息及び配当金の受取額	39,536	96,521
法人税等の支払額	△598,454	△318,007
営業活動によるキャッシュ・フロー	376,961	2,059,029

	前連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)	当連結会計年度 (自 2024年3月21日 至 2025年3月20日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2,194	△2,162
有形固定資産の取得による支出	△695,339	△72,462
有形固定資産の売却による収入	5,205	—
無形固定資産の取得による支出	△7,365	△9,228
投資不動産の取得による支出	△134,315	—
その他	△11,817	△3,608
投資活動によるキャッシュ・フロー	△845,826	△87,461
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△15,832	△30,836
配当金の支払額	△228,621	△248,589
財務活動によるキャッシュ・フロー	△244,453	△279,425
現金及び現金同等物に係る換算差額	38,874	95,113
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△674,443	1,787,255
現金及び現金同等物の期首残高	2,246,247	1,571,804
現金及び現金同等物の期末残高	1,571,804	3,359,059

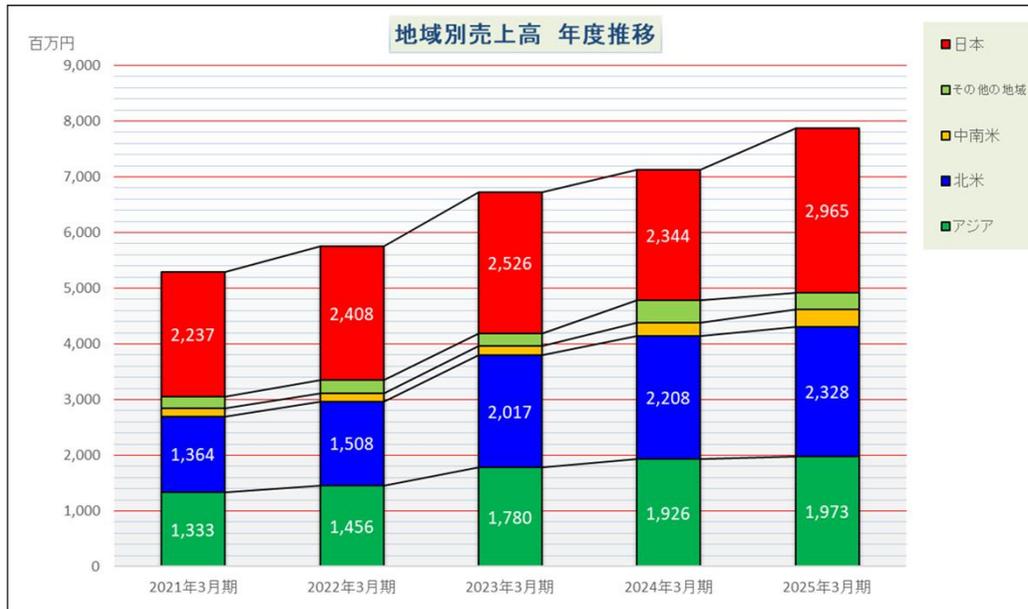
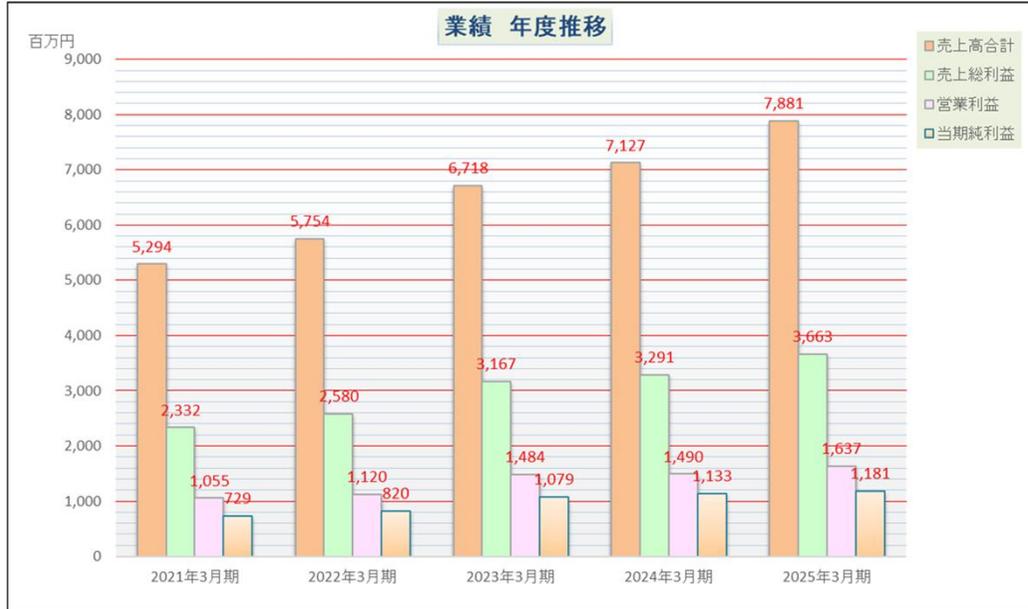
配当金

年度			2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
業績	売上高	百万円	5,754	6,718	7,127	7,881
	営業利益	百万円	1,120	1,484	1,490	1,637
	経常利益	百万円	1,197	1,534	1,550	1,723
	当期利益	百万円	820	1,079	1,133	1,181
	経常利益率	%	20.8%	22.8%	21.8%	21.9%

配当	一株あたり利益	分割前	円	330.68			
		分割後	円	82.67	108.69	113.99	118.73
	一株あたり配当金	分割前	円	68			
		分割後	円	17	23	25	28
配当性向 (%)			%	20.6%	21.2%	21.9%	23.6%

※2021年12月21日に1:4の株式分割を実施しております。

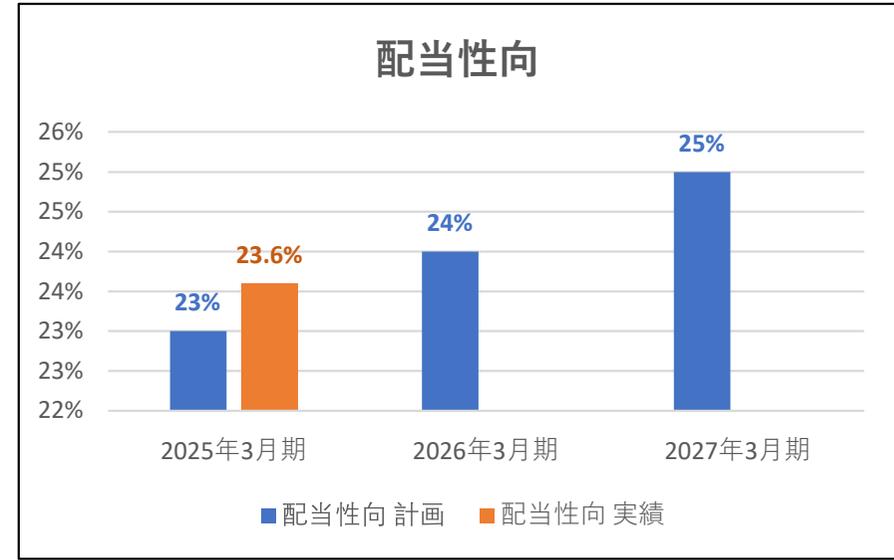
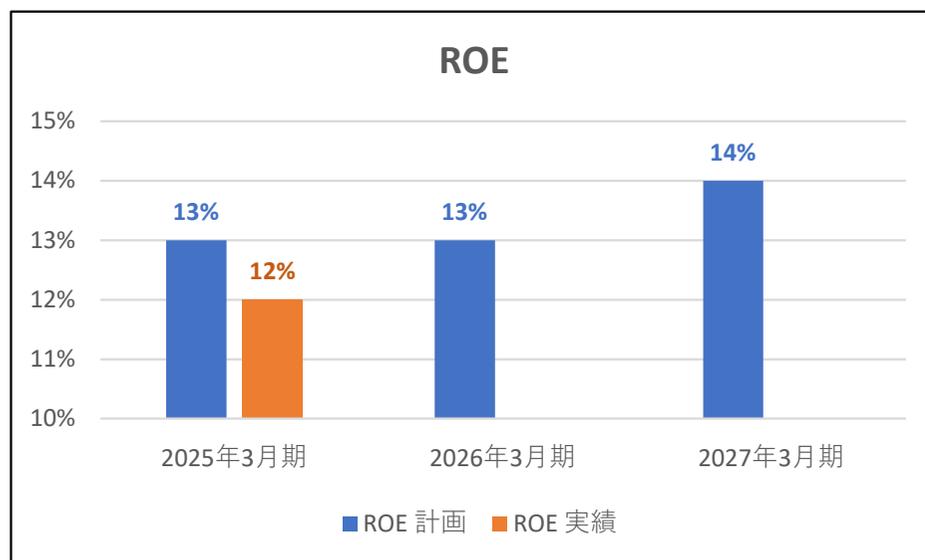
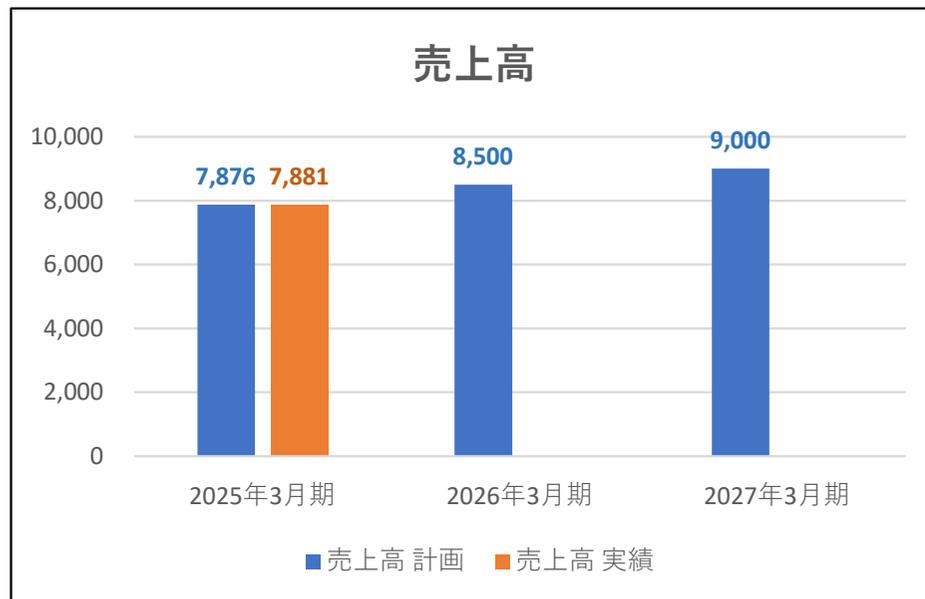
業績推移



2次中期経営計画 進捗状況



1年目 各数値目標について



重点戦略取組について

《販売基盤強化》

- ◇海外市場拡大
 - ・海外大手ユーザー認証取得促進
 - ・ユーザー多様化推進
(非自動車、納期、建機、アロス^o-ス)
 - ・技術・サービスサポート機能強化
(欧州・中国・インド・タイ)
 - ・新たな拠点開設準備
- ◇国内市場深耕
 - ・新規重点攻略ユーザー育成

《製品、生産基盤強化》

- ◇製品開発
 - ・次世代モデル開発
 - ・市場環境変化への対応
(省人化、EV化へ対応した製品企画)
 - ・システム装置の新企画製品開発
 - ・各種海外規格認証対応拡充
- ◇生産
 - ・新工場建設
 - ・DX推進による生産性向上&キャパ^oUP

《経営基盤強化》

- ◇執行役員制度導入
- ◇IT、DX化推進による生産性向上
- ◇収益力の強化
 - ・営業利益20%以上
 - ・ROE14%以上を目指す
- ◇人的資本への投資

《取り組み》

- ・海外大手認証、年間契約取得による販売増加
- ・建機・農機メーカー納入実績増加
- ・中国拠点駐在員派遣
- ・EOR (メソ、インドネシア) 活用
- ・アジア代理店ミーティング開催
→サポートネットワーク拡充

《取り組み》

- ・ロボットメーカーコラボ
(プラグイン機能)
- ・ユーザー多様化に向けた製品拡充
(対応トルク帯拡充、新供給UNIT)
- ・北米、韓国、欧州認証対応
- ・新工場25年10月着工、26年11月竣工予定
- ・海外拠点での中間在庫戦略
(納期短縮)

《取り組み》

- ・執行役員制度 (2025年4月～)
- ・健康経営取組強化、
各種諸制度導入
- ・SFA導入 (営業見える化)
基幹システム刷新 (業務改革)

海外販売ネットワーク拡充への取り組み



**ASIA GLOBAL
CONFERENCE開催**

2024年9月10、11日
@ESTIC HQ



2026年3月期 連結業績予想

2026年3月期売上については前期比増収を見込んでおりますが、米国の関税政策が顧客の設備投資動向に与える影響を精査中であり、現時点では合理的な算定が困難である事から、未定といたします。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。



会社概要・事業内容



会社概要

会社名	株式会社エスティック	
証券コード	6161（東証スタンダード）	
設立年月日	1993年8月	
本店所在地	大阪府守口市東郷通1-2-16	
資本金	5億5700万円	
役員構成	代表取締役 社長	鈴木 弘英
	専務取締役	伊勢嶋 勇
	取締役 監査等委員(社外取締役)	山本 純治
	取締役 監査等委員(社外取締役)	河渕 健司
	取締役 監査等委員(社外取締役)	大松 信貴
主要株主	鈴木 弘	1,579,200株
	株式会社日伝	1,120,000株
	弘鈴興産株式会社	800,000株
	長沼商事株式会社	560,000株
	エスティック従業員持株会	530,500株
発行済み株式総数	11,768,000株	
従業員数	従業員255名（パート25名含む）	
事業内容	電動工具、産業用ロボット・自動組立ラインの製造ならびに販売	

2025年3月20日現在

沿革

- 1993年 太陽鉄工（現TAIYO）よりEBOにより当社設立
- 1994年 東京営業所を横浜市に開設
- 1998年 中部営業所を愛知県岡崎市に開設
- 1998年 本社社屋改装及び新工場建設（現橋波事業所）
- 2000年 ハンドナットランナ発売
- 2001年 中国 上海市に合弁会社SHANGHAI ESTICを設立
- 2006年 東京証券取引所マザーズ市場へ株式新規上場
- 2007年 サーボプレス発売
- 2012年 タイ バンコクにESTIC(THAILAND)CO.,LTD設立
- 2014年 アメリカ ケンタッキー州にESTIC AMERICA Inc設立
- 2016年 大阪府守口市東郷通に東郷事業所新築
- 2016年 東京証券取引所市場第2部に市場変更
- 2018年 マイクロナットランナ発売
- 2019年 アメリカ ミシガン州にNovi Technical Center開設
- 2019年 大阪府守口市東郷通へ本社新築移転
- 2022年 東京証券取引所スタンダード市場に市場変更
- 2023年 大阪府守口市菊水通に技術開発センター建設

本社 ・ 東郷事業所



橋波事業所



技術開発センター(TDC)



SHANGHAI ESTIC(CHAINA) ESTIC(THAILAND)



ESTIC AMERIC Inc (USA)



Novi Technical Center (USA)



当社製品の説明（製品セグメント）

ナットランナ



ナットランナはボルトの締め付け時において、トルク、角度、時間などをコンピュータ制御することにより高精度締め付けをおこない、あらゆる環境下でも緩みのないネジ締め付けを実現します。

ハンドナットランナ



ハンドナットランナはナットランナをハンディタイプにした締め付け工具で、当社特許技術であるパルス制御で、締め付け時に作業者にかかる反力の軽減を実現し、高精度締め付けと作業性の向上を実現した工具です。

ネジ締め装置



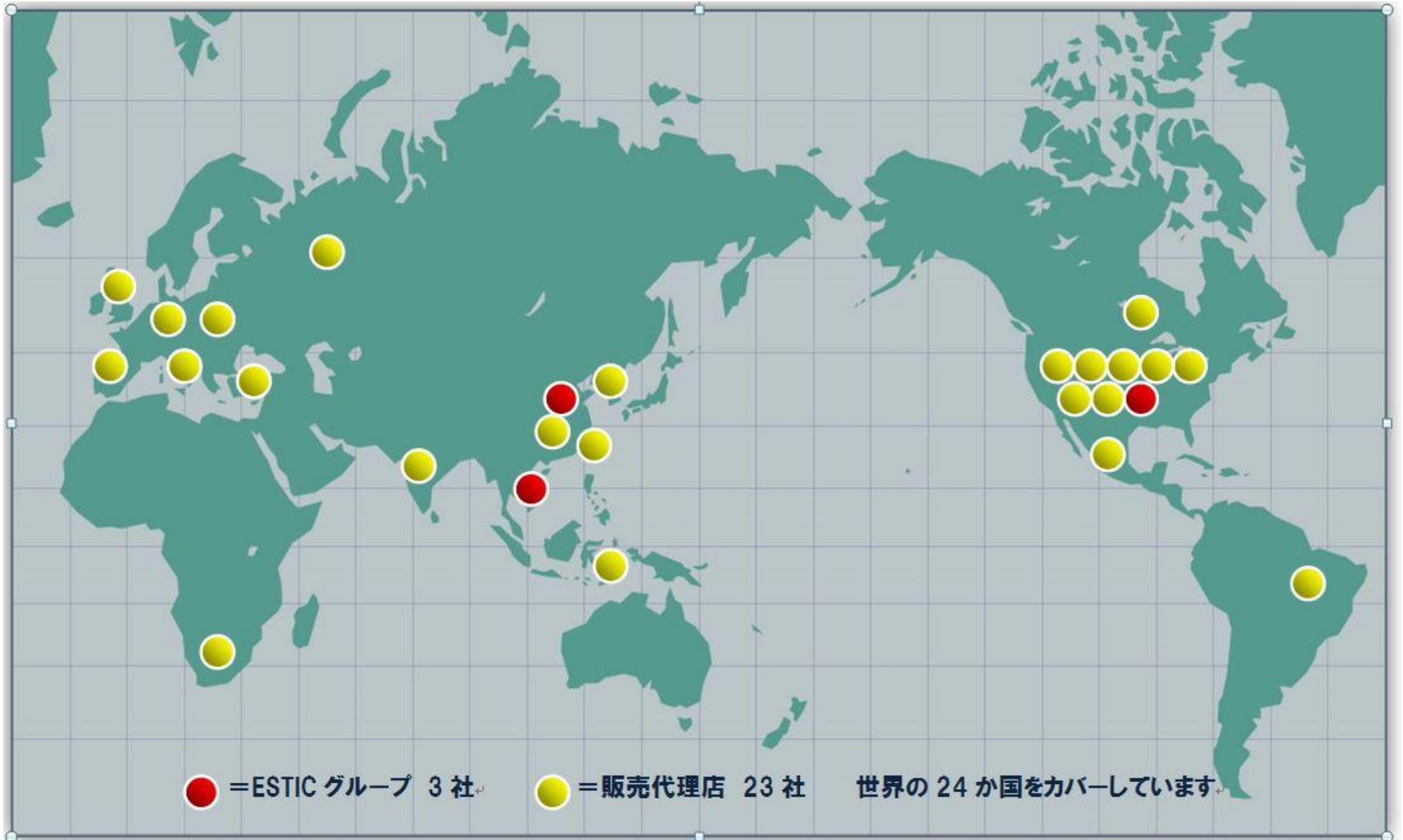
ネジ締め装置はナットランナを組み込んだ締め付け設備で、ユーザーニーズにより設計製作したオーダーメイドの設備です。またハンドナットランナを組み込んだ簡易的な締め付け設備であるトレーサームも含まれます。

サーボプレス



サーボプレスはナットランナ技術を応用した、荷重制御、距離制御に優れた高速、高精度圧入機です。

当社の販売ネットワーク



見えないものを見るテクノロジーで、ものづくりの未来を広げる

製品開発コンセプト

高精度計測・省力・エコロジーを電動化で実現

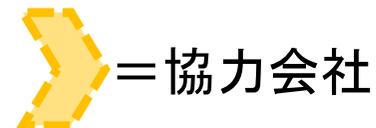
実現の為の技術力



フレキシブルな生産体制



= 自社



= 協力会社



【本資料における注意事項等】

本資料には株式会社エスティックの業績、計画、戦略などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれております。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社エスティック管理部

TEL 06-6993-8080

URL <https://www.estic.co.jp>